

この R1 に更に改良を加え、スピーカにダブルコーンスピーカを使用し、更に低周波回路に負帰還をかけて音質の向上を目指し、また高圧整流管は従来の 1X2B より高性能の 1S2 を使用し一段と画面の明るを増したセットが T-14R1F であるが、本セットはこの R1F にリモートコントロールの機能を付加したセットである。

リモートコントロールは電源の開閉、チューナの回転、自動調音、音量、輝度の調節ができ、イヤホンがコントロールボックスにも取付可能である。



☆特 徴☆

- 1) リモートコントロール機能は切換スイッチによりセットのつまみとは全く独立して操作が出来るため、予めセットのつまみを調整しておく必要がない。
- 2) チューナの回転はチューナの後にある選局用ダイヤルにより、予め受像希望のチャンネルに合わせておくことにより、押ボタンスイッチを一回押すだけで予め合わせておいたチャンネルまでオートで回転して行って自動的に停止するようになっている。このためチューナの回転は1分間に約13回転という速い速度になっている。
- 3) セットにもオート駆動用の押ボタン・スイッチがあって2)の操作が可能になっている。
- 4) テレビの音声を更に高級な Hi-Fi 装置で楽しみたい人のために背面に端子を設け、これからテレビの音声を取出すことが出来るようになっている。

☆定 格☆

- 電 源 100V (110V) 50~60%
フューズ交換式
- 入力インピーダンス 300Ω平衡型
- 受 像 方 式 インターキリヤ式
- 調 音 (選 局) 12チャンネル切換式
- 真 空 管 16球 (ブラウン管を含む)
- ゲルマニウムダイオード 4石
- プ ラ ク ト 音 14型 90°偏向メカタイプ
静電集束型
- ス ピ ー カ 10×18(cm)メカタイプ
- 音 声 出 力 無負 2W
- 消 費 電 力 135W
- キ ャ ビ ン 卓上型 47×47×43(cm)
- 電 量 22kg
- リモートコントロール 4チャンネル(電源、音量、輝度及びチャンネル)
- イヤホン 操作性約 5m

- スピーカ 2x10cm
- 連続運転 4分 入力 33W

ホームステレオアンサンプ
HE-20

手軽に立体再生を楽しめる2バンドチューナ付本格的ステレオ再生装置である。即ち小型ステレオプレーヤAL-852, AL-862, HP-20 を加えるだけでステレオレコードによる立体演奏がたのしめる。



☆特 徴☆

- 1) 1つのボリュームで2つの働きをする新構造のモノ・ステレオスイッチ
① スtereo 側入りのときは常に左右チャンネルの音量レベルを同一に保つ事が出来る。
② モノラル演奏、ラジオ受信のときは音量ボリュームとして働く。
- 2) スピーカはセパレート型を採用し各々 2m の附属コードを付しているから据付自在で、増設部との接続に便利なコネクタを採用している。

☆定 格☆

アンプ部

- 受信周波数帯 MWバンド 535-1605kc
SWバンド 3.7-12Mc
- 中間周波数 455kc
- 使用真空管 12BE6 周波数変換管
12BA6 中間周波増幅管
OA-79 ゴルマニウム検波管
12AX7 チャンネル低周波増幅器
30A5×2 左右チャンネル出力管
TC13C11/7 セレクタ整流管
- パイロットランプ ネオン管 1個
- 受 信 感 度 MWバンド 50μV/50mW
SWバンド 30μV/50mW
- 周 波 数 特 性 50-10,000%
- 電 気 的 出 力 無負 1.6 1.6W, 最大 2.2W
- 音 量 調 整 3点切換
- 入 力 端 子 左右チャンネル共 PU 0.5V にて出力 1.6W
- 出 力 端 子 2端子端子左右チャンネル共 3.5Ω
- 電 量 50-60%、100-110V
- 消 費 電 力 32VA
- 型 状 350×175×200(mm)
- 重 量 3.0kg

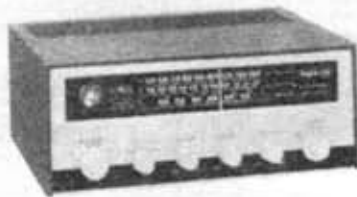
スピーカーステム部

- 型 式 後面開閉型(接続コード 2m付)

- 使用スピーカ 6.5吋
- 再生周波数 70~8,000%
- 許容入力 4W
- ダイスコイルインピーダンス 3~4 Ω
- 型 状 265×270×175(mm)
- 重 量 1.5kg (1個当り)

ナショナル AM-FM オールバンド
6W-6W Hi-Fi ステレオアンプ
RA-41

本機はステレオレコードを讀みなく立体再生出来るのみならず、FM放送をはじめ中波、短波放送も美しいHi-Fi音で受信出来る本格的AM-FMオールバンド付ステレオアンプである。



☆特 徴☆

- 1) ステレオプレートをはじめステレオマイク、ステレオテープレコードも全てこのアンプでステレオ再生が出来る。このもチューナを接続することにより自蔵のチューナと共に立体放送の再生も出来る。
- 2) FMオールバンド
MW, SWの他にFMバンドがついているので国内放送はもとよりNSBのナイターや海外放送、FMのHi-Fi放送も自由に再生できるオールバンドである。
- 3) AFC及びリミッター、AVCを完備しているから安定な雑音の少ない受信が行える。
- 4) プリアンプを自蔵しているからマクネッチックアップアンプのみならず、マイク、テープレコードも接続することが出来る。
- 5) モートスイッチを採用しているので、ステレオ、逆ステレオ、右チャンネル、左チャンネル、両チャンネル混合の使い分けが出来る。
バランスコントロール付であるからステレオバランスを簡単に調整することが出来る。また低音、高音のトーンコントロール、ボリュームコントロールは2連ボリュームを使用しているので一つのつまみで簡単に調整することが出来る。

☆定 格☆

- 受信周波数 MW 535~1605kc
SW 3.8~12Mc
FM 80~90Mc
- 中間周波数 AM 455kc FM 10.7Mc
- 使用真空管 6AQ8, 6AJ8, 6DC8, 6BX6, 6AL5, 6BA6
12AX7(2本), 12AU7(2本), 6AV6(2本)
6BQ5(2本), 6ZEL, 6CA1
- 受信感度 MW 30 μ A/50mW
SW 80 μ V/50mW
FM 3 μ V/50mW

- 周波数特性 40~20,000% \pm 0.5 db
- 電気的出力 最大 6W 無歪 5W
- 雑 音 -52db以上
- クロストーク -40db以上
- 音質調整 高音 15,000%にて+12db -24db
低音 30%にて+14db -20db
- チャンネルバランス \pm 0.5db (バランスにて \pm 5db可変)
- 入力端子 Mag 入力 5mVにて出力5W
Xtal 入力 20mVにて出力5W
Radio 入力 0.25Vにて出力5W
Aux 入力 0.25Vにて出力5W
- 出力端子 スピーカ 4 Ω , 8 Ω , 16 Ω
録音端子 0.5V 500 Ω
- 電 源 50~60%, 90~100~110V(プラグ切換式)
- 消費電力 110VA
- 寸 法 410×180×300(mm)
- 重 量 11.0kg

漁 船 用 受 信 機
MR-53型

海況、漁況等について、漁業用海岸局その他の発した一般通報、緊急通報、遭難通信を受信する他、船舶用回転ビーコンを受信してビーコン局よりの方向を知る事を目的とするものであり、次の特徴を有する。



☆特 徴☆

- 1) トランジスタの使用により
 - (a) 性能が安定しパイププレートによる故障がない。
 - (b) 消費電力が少ない。
 - (c) パイププレートが不用のためパイププレートノイズがない。
- 2) 小型漁船に取付けるため、小型軽量でどこでも取付けられる。
- 3) ビーコン、漁船バンドの他に標準放送も受信出来る。
- 4) 完全な防湿、防震、防錆装置を施している。
- 5) 船内現用蓄電池(12V)で動作する。
- 6) 漁船バンドの受信範囲が広い。

☆定 格☆

- 受信周波数
ビーコン帯 280kc~330kc
放 送 帯 535kc~1605kc
漁 船 帯 1.6Mc~4.8Mc
- 感 度
ビーコン帯 200 μ V以下
放 送 帯 100 μ V以下

- 選 択 度
±10kc 範囲に対し 20db以上
- 電気的忠実度
1,000%基準 20% -6db以内
4,000% -15db以内
- 電気的出力
最近最大出力 700mW以上
- 電池電圧及び消費電流 12V 1A
- 使用真空管、トランジスタ

周波数変換管	12AG6	1
中間周波増幅管	12AC6	1
検波、低周波増幅管	12AE6	1
低周波増幅トランジスタ	OC-72	1
電力増幅トランジスタ	OC-19	1
- 型状・寸法 30.0×20.0×23.5 (cm)

マイクロトーンキ
CM-101

周波数に市民バンド (467Mc) を使用した小型、軽量、取扱簡単な携帯用無線電話装置である。



特 徴

- 1) 本器は郵政省の型式検定検査に合格しており、操作には無線従事者の資格を要しない。
- 2) 電源には乾電池を使い、ショルダー型皮ケースに収められているので携帯に便利であり、マフラー1個ですべての操作が出来るから取扱いが簡単である。
- 3) 乾電池箱の代わりに交流電源部を挿入すれば、容易に固定局として単相交流で使用出来る。
- 4) 発振管以外は、トランジスタを採用することにより消費電力を軽減すると共に、ワイヤ配線の併用によって均一な性能を有する。

定 格

- 使用周波数 467Mc
- 送信方式 自動発振 A3
- 受信方式 超再生検波
- 通話方式 フリーキー方式
- 送信出力 約100mW

- 通話距離 約3km(但し平地で見通し範囲)
- 消費電力

乾電池電源	A (6V)	1M-1	1個
	B (67, 5V)	BL-145	1個
	A電池	約5時間	
	B電池	約10時間	
- 交流電源 単相交流 50~60% 100V

送信時	6W
受信時	4W
- 使用真空管

6ML3	1
OC-71	2
OC-72	2

ナショナルテープレコーダ
RQ-205

RQ-205は標準型Hi-Fiテープレコーダとして特に設計されたもので、7号リールまで使用できる。

特 徴

- 1) 録音・再生・停止・早送り・巻戻しの各動作をレバー1個の操作により容易に切替できる。
- 2) 優秀なサウンド
シールド録音再生ヘッドの使用により、異次元特性、高率に優れた完全なるHi-Fiテープレコーダである。
- 3) ナショナルダイナミックコイル DM-6を使用し、また大型ケース、17.5×10 (cm) 楕円コーンダイナミックスピーカを使用しているため、非常に優秀な音質特性を有する。
- 4) 強力コンデンサーモータを使用しているため、送電むらも少なく早送り、巻戻しも急激に行なうことができる。
- 5) 急停止レバーを有している。
- 6) テープリールは7号まで使用でき、またケース内に収納できる。



定 格・性能

- 電 源 交流100V 50% (または60%)
- 消 費 電 力 約65VA
- 出 力 1W
- 使 用 真 空 管

電圧増幅管	12AX7	1本
	6A16	1
電力増幅管	6AR5	1
発振管	6AR5	1
検波管	6X4	1
録音ヘッド 標示管	6MF5	1
- 録音方式 交換ヘッド 50kc/s
- 消去方式 交流消去方式
- 送 速 毎秒 19.6m/s (7 1/2 吋 15 1/4 寸)